



カケハシ・プロジェクト（カナダ） ジャパンボウル招へいの記録

1. プログラム概要

【目的】カナダの高校生を対象に毎年開催されている、ジャパンボウル（日本語、日本文化等の知識を競うクイズ大会）の成績優秀者らが、東京都、石川県を訪問し、ホームステイや学校交流、視察や政府関係者等との交流を通じて、日本文化や社会、歴史について理解や知識を深めるとともに、親日度の一層の深化と参加者同士のネットワーク強化を図ることを主目的として実施しました。

【参加者】ジャパンボウル入賞者 カナダの高校生・大学生・社会人及び引率者 計 11 名

【訪問地】東京都、石川県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

8 月 18 日（金曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、渡航注意、新型コロナウイルス感染症対策等

指定期間 【課題学習（動画配信）】講義「日本と国連」、日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

8 月 24 日（木曜日） 成田国際空港より入国

【オリエンテーション】

8 月 25 日（金曜日） 東京都から石川県へ移動

【学校交流】石川県立小松高等学校

【文化体験】歌舞伎 ※こまつ曳山交流館みよっさ（小松市）

【ホストファミリー対面式】

8 月 26 日（土曜日） 【ホームステイ】石川県加賀市（5 家庭）

8 月 27 日（日曜日） 【ホストファミリー歓送会】

【文化体験】金箔貼り

【視察】金沢 21 世紀美術館

8 月 28 日（月曜日） 【視察】兼六園・金沢城公園

石川県から東京都へ移動

8 月 29 日（火曜日） 【視察・文化体験】太鼓館（宮本卯之助商店）、和太鼓（HIBIKUS：宮本卯之助商店）

※ジャパンボウルサポーターズグループ（JBSG）主催

【視察】浅草

【表敬訪問】外務副大臣 山田 賢司 氏

【視察】秋葉原

8月30日（水曜日） 【表敬訪問】内閣総理大臣夫人 岸田 裕子 氏

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

【表敬訪問】高円宮親王妃久子殿下

8月31日（木曜日） 【成果報告会】

成田国際空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



8月25日【学校交流】
石川県立小松高等学校 ESS 部



8月26日【ホームステイ】石川県加賀市



8月27日【ホストファミリー歓送会】



8月27日【文化体験】金箔貼り



8月28日【視察】兼六園



8月29日【視察・文化体験】
太鼓館（宮本卯之助商店）、和太鼓（HIBIKUS）

	宮本卯之助商店)
	
8月30日【表敬訪問】高円宮親王妃久子殿下表敬 ※写真は本報告書掲載のみ。SNS 公開は不可。	8月31日【成果報告会】

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 社会人

プログラムで印象に残ったことは、新幹線の乗車とホームステイです。日本文化や新幹線がどれだけ速いかを実際に知ること、素晴らしい経験になりました。

◆ 高校生

暑さにも関わらず、兼六園の美しさに圧倒されました。ホストファミリーに加賀市の片山津温泉に連れて行ってもらい、温泉に初めて入ったことも良い経験になりました。特にホストファミリーの子どもたちが、正しい温泉の入り方を教えてくれたことも素晴らしい思い出になりました。

また、小松高校の生徒と一緒に歌舞伎の口上体験をし、交流を深めながら校内を見学してことは、大変有意義な時間でした。

◆ 高校生

学校交流で出会った生徒達はとても優しく、日本とカナダの高校の違いを知ることができました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 交流校教員

カナダからの参加者と、小松の伝統文化である歌舞伎をテーマに様々な交流を体験したことが特に印象に残っています。普段コミュニケーションに消極的な生徒が、意欲的に自ら話しかけていました。

◆ 交流校生徒

小松の伝統文化である歌舞伎や輪踊りを通して、私自身も学びながら、交流できてよかったです。特に学校紹介では、積極的にコミュニケーションを取ることができ、楽しかったです。

◆ 交流校生徒

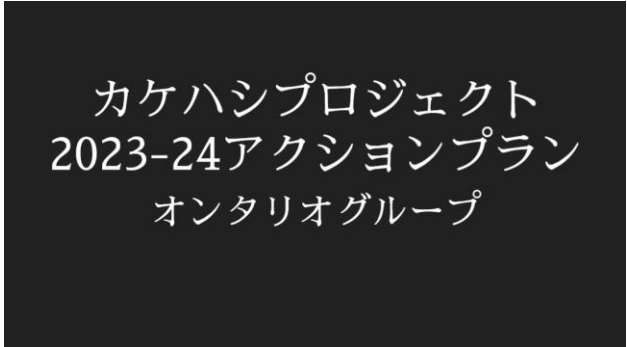
みなさんがとても日本語が上手だったり、日本の漫画のTシャツを着ていたりして、本当に日本が好きなんだと分かって嬉しかったです。

5. 参加者の対外発信

	
2023 年 8 月 25 日 (Instagram) 学校交流についての発信 小松高校の ESS 部に所属する 5 人の生徒に案内してもらいながら、校内見学をしました。様々な場所や教室を案内しながら、学部活動の話をしてくれた他、文化祭の準備に取り組んでいる生徒の姿もたくさん見かけました。カナダと日本の高校の相違点や共通点に触れながら、お互いの文化を分かち合うことができ、とても有意義な交流になりました。カナダの高校の方が断然規模が小さいことも分かりました。また素敵な仲間に出会えることを楽しみにしています。	2023 年 8 月 25 日 (Instagram) 伝統文化体験についての発信 こまつ曳山交流会館みよっさで歌舞伎のメイクと衣装着付けを体験しました。歌舞伎文化と祭りの歴史に触れ、役柄ごとにメイクの仕方が異なることが興味深かったです。教えてくださったスタッフの方に感謝の気持ちでいっぱいです。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

※全 2 グループが発表

	
【訪日中の学び】 ● ゴミ箱がない ● 改札を通るときに新幹線の切符を取り忘れない ● 温泉の健康効果 ● 田舎の挨拶文化など 【アクション・プラン】	【訪日中の学び】 カナダと日本の相違点 1. 引き戸が多い 2. 様々な機能ボタンが付いてるトイレが多い 3. 車は、運転手は右側に座り、左側を走行する 4. 歩道の左側を歩く

今後 6 か月間、日本語を学んでいる、または、留学に興味がある生徒に向けて、YouTube や Instagram の他、口コミやクラスメートとのディスカッションを通して、カケハシ・プロジェクトの目的や個人の体験について語るビデオやリアル動画を共有します。 ※参加者 5 名がそれぞれ発表 【個人行動計画】（抜粋） ・ブリティッシュコロンビア大学（UBC）の Go Global（海外留学・研修プログラム）に参加して、剣道部に入り、日本語能力試験 3 級を取得します。 ・空いた時間を利用して日本語の勉強を続け、大学で日本語コースがあれば受講します。 ・もっと日本語スキルを習得するために、頻繁に日本を訪れ、日本語学習を続けます。	5. 方言：石川弁では“している”ではなく、“しとる”と言う 6. 四文字熟語の一期一会（まさにホストファミリーとの出会い）等 【アクション・プラン】 新学期が始まったら、それぞれ個人の日本語クラスの友人や後輩に、オンラインやソーシャルメディアを通じて日本での素晴らしい経験を共有し、日本の魅力を伝えます。 【個人行動計画】（抜粋） ・大学で東アジア研究科を専攻し、日本についての知識を深め、国際関係を学びながら、日本と関わっていきます。日本は自然、美食、建築、文化が豊かで、世界を違った角度から見るのに最適な場所です。一旦帰国しますが、当面は、自分の家族や友人に私の経験を共有し、日本語を上達させながら、彼らに日本の良さを感じてもらえるように働きかけたいと思います。 ・カケハシ・プロジェクトを通じて素晴らしい経験を得ました。今後も他国の国際交流プログラムに参加し、カナダの文化広めたいです。 ・将来は日本に訪れ、日本の文化や日本語を深めたいです。カケハシ・プロジェクトを広め、周り人たちに関心を持ってもらいたいです。
--	---

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）